

受 験 番 号					

氏 名	

2026年度  
放送大学大学院修士課程  
文化科学研究科 文化科学専攻  
**社会経営科学プログラム**  
筆記試験問題

試験日：2025年10月4日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（5ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。  
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。  
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、社会経営科学プログラムは2枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

## 社会経営科学プログラム 筆記試験問題

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問 以下の文章を読み、エミール・デュルケーム (Emile Durkheim) とマックス・ヴェーバー (Max Weber) の「宗教」に対するアプローチの違いが明確になるよう留意しながら、全体を要約しなさい。(600字以内)

The definition of religion has for a long time confounded the sociology of religion. The basic issue is common to sociology as a whole and it concerns the problem of the cultural specificity of our basic concepts. Our understanding of religion may have only small relevance to other societies. In part because Christianity was in the nineteenth century associated, rightly or wrongly, with Western colonialism, there is the suspicion that the definition of religion in the social sciences will be heavily coloured by Christian assumptions. This issue comes out very clearly in Max Weber's comparative sociology of religion, in which, for example, it is not clear that Confucianism is a religion at all. Belief in a High God\* is largely absent from Asian religious cultures and Confucianism is perhaps best regarded as a state ideology relating to social order and respect for authority. Similarly, Buddhism may be understood as 'the Righteous Way' (*Dharma*) that develops meditation practices to regulate human passions. Daoism is typically a system of beliefs and practices promoting health and longevity through exercises such as breathing techniques. Syncretism is also a notable characteristic of China, especially between Buddhism and Daoism, and hence these religious traditions often overlap and borrow from each other. There was also a cultural division of functions in which Confucianism was important in family concerns, Buddhism for funeral services and Daoism for psychological and health matters.

Weber and Durkheim had very different strategies in trying to define religion. Durkheim, in search of a generic definition in *The Elementary Forms of Religious Life* ([1912] 2001), treated religion as simply one aspect of a more general question of classification. For him, religion involved the classification of phenomena into the sacred and profane, that is, things that are set aside and forbidden. However, Durkheim was less concerned with beliefs and more interested as a sociologist in how religious practices demarcate the classificatory boundaries and further how collective experiences constituted communities. Scattered Australian aboriginal\* groups are brought together periodically by their common religious practices with the result that their sense of belonging is regularly re-invigorated during episodes of collective emotional euphoria. Durkheim was concerned to understand religion as such rather than the different manifestations of the sacred in world religions.

By contrast, in *The Sociology of Religion* Weber (1966) was probably less concerned with these anthropological questions and more interested, from the perspective of historical and comparative sociology, in how religious orientations contribute to general patterns of social change. His most

famous work in the sociology of religion – *The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism* (2002) – was a study of the social and economic role of the Protestant sects in the rise of rational capitalism. Consequently Weber was interested in the study of religions in all of their complexity and diversity in the comparative study of human civilisations. Whereas Durkheim had begun his work on aboriginal religion with a long and complicated analysis of the sacred, with the scientific goal of providing a generic definition of religion, Weber argued that a satisfactory definition of religion could only be attempted as the conclusion to scholarly research.

\* a High God 最高神

\* aboriginal 先住民の

(出典：Religion and Modern Society Citizenship, Secularisation and the State by Bryan S. Turner, Cambridge University Press, 2011, Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.)

第2問 以下に列挙する(1)～(7)の分野のうち、研究指導を希望する分野を一つ選んで、その分野の問題に解答しなさい。なお、選択した問題番号を解答用紙の「小問題番号等記入スペース」に明記すること。

(1) [政治学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

①トマス・ホブズズの社会契約論の特質をわかりやすく説明しなさい。

②個人の主権性について、政治理論の観点から論じなさい。

(2) [法学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

①Aは、癌がんに罹患している夫であるBの長期入院・治療費などにより家計に窮するようになったため、Bに無断で、Bから預かっていたBの実印等を利用し、Bの代理人としてB所有の土地をCに売り渡した。後にBが死亡した。A、B間には子Dがいた。以下の各問について、法的根拠を示して論じなさい。

(1) Cは、Bの生前にBに対し、その土地の所有権移転登記手続を請求することができるか。

(2) Cは、Aに対し、どのような請求をすることができるか。

(3) Bが死亡した後、仮にDが相続を放棄した場合には、Cは、Aに対し、どのような請求をすることができるか。

(4) Bが死亡した後、仮にDが相続を放棄しなかった場合には、どうなるか。

②米中貿易摩擦は、先端技術分野の知財問題として日米貿易摩擦を想起させる点がある。米中貿易摩擦の知財問題としては、知的財産権侵害と技術の強制許諾が指摘されている。その知的財産法における問題点について説明し、あわせて米中貿易摩擦と日米貿易摩擦との異同について述べなさい。

(3) [国際関係分野]

グローバル化の展開と国際関係への影響を歴史的な経緯もふまえて説明しなさい。(800字以内)

(4) [建築分野]

持続可能な社会を目指す上で、日本において建築の寿命が短いことにも問題があると指摘されている。近年では有名無名を問わず、わずか築 30 年程度で取り壊される建築も多く、スクラップアンドビルドの傾向に拍車がかかっている。ではなぜ日本の建築は寿命が短いのか。その理由を経済的、文化的、歴史的背景を踏まえて記述しなさい。

(800 字以内)

(5) [経済学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

①社会経済学分野であなたが探究したいテーマは何ですか。現在重要と考えている既存文献には何がありますか。重視する理由も付して下さい。あなたは文献をどのような方法で探しますか。以上 3 点につき簡潔に述べなさい。(合わせて 800 字以内)

②経済思想ないし環境思想分野で、あなたが修士論文で研究したい具体的テーマを示したうえで、(a)テーマの選択理由と学問的重要性、(b)現在重要と考えている文献・資料や先行研究、(c)研究の目的(どんなことを明らかにしようとしているか)、以上 3 点につき述べなさい。(合わせて 800 字以内)

(6) [社会・コミュニティ分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

①社会的逸脱に関する学説を 2 つ以上挙げ、それぞれについて知るところを述べなさい。(800 字以内)

②次に挙げる (a) から (d) の用語についてそれぞれ説明しなさい。(全体で 800 字以内)

- (a) 集合的消費
- (b) グローバル・サウス
- (c) 修正拡大家族
- (d) ダブルバーレル

(7) [経営学分野]

次の①～④から一つ選び、解答しなさい。

①生産年齢人口の減少に対応するための人事施策のなかで、あなたが重要であると考えることを 2 つ取りあげて論じなさい。(800 字以内)

- ②物流の 2025 年問題を解決するための方策について、異なる 2つの観点から論じなさい。(800 字以内)
- ③内部統制報告制度が改訂され、新制度が 2024 年 4 月 1 日開始事業年度から適用となった。その改訂の背景について述べ、今後あるべき内部統制のあり方について論じなさい。(800 字以内)
- ④国内における穀物価格の「高騰」および「下落」について、それぞれマイナスの面とプラスの面を、生産（供給）および消費（需要）の視点から、論じなさい。(800 字以内)

以上